

広報 いまり

昭和29年8月19日 毎月1日発行 定価1部20円 昭和55年3月1日 伊万里市役所総務部秘書課発行 No.313
第3種郵便物認可

'55

3月

ほのかな梅の香りが春の訪れを告げています。
(大坪町永山にて)

国道202号と204号を結ぶ 待望の西部バイパス（二里～黒川線）に着手

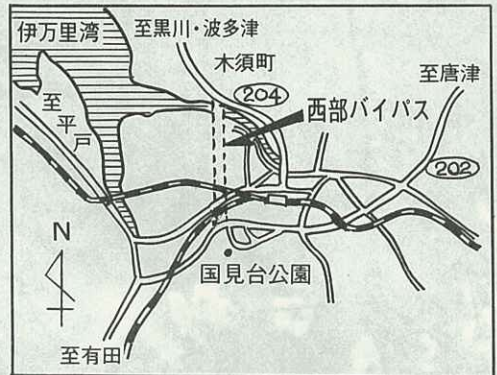
国道202号と204号を結ぶ待望の二里～黒川線バイパス（通称＝西部バイパス）が、今年1月から着工しました。

この工事は、二里方面に通じる国道202号線と黒川、波多津方面に通じる204号線が、市内中心部を通過しないと結ばれないために市街地の交通が混雑しているのを、これを緩和させようと計画されたものです。

このバイパスは、二里～黒川線を延長1.3kmで結ぶ道幅約11mの2車線道路（暫定）で、59年度完成をめざし、県が事業費約25億円をかけて行っています。

道路は、国道202号バイパス、国見台公園の入り口（野球場側）付近の伊万里ガス西側約100mの地点と、伊万里川沿いのツボミ自動車整備工場横、木須町の204号を直線約1.3kmで結びます。

これが完成すると二里から黒川、波多津方面への通過がスムーズになるばかりでなく、車両の中心部通過を取り除く役割を果たし、市街地の交通遅滞を解消することができま



す。このバイパス構想は、郊外を環状に結ぶ都市計画街路プランに沿って伊万里土木事務所が昭和50年度から事業を進めてきたもので、用地買収がほぼ終わったのに伴い54年度事業で本工事に着手したものです。

バイパスは国鉄松浦線や新田川を長さ約330mの高架でまたぎ、伊万里川には約97mの橋がかけられます。

59年度末完成をメドに、当面2車線を開通させることにしていますが、将来は交通量の増加に合わせて4車線に広げる計画がなされています。



▲ 204号線側から始まった二里～黒川線バイパス工事

もので、とうてい人間社会とはいえない。この頃は刑罰が軽すぎるという批判もあるが相手は精神錯乱者や子供では、ただ刑罰を重くしてもそれだけでは解決しない。中国では酔っぱらいの姿さえ見られず道義犯や風俗犯が皆無にひとしい。その原因は勿論このような犯罪に対する刑罰がかなり重いに犯罪の起りや、それ以上風土が築かれていない。それは職場でも家庭でも学校でも一定の組織の中にあっても組織が優先して監視し、また組織の中のお互が悪いことは牽制し、善いことは競争しあっているからである。日本ではいま直ちにそのまま応用することはできないが、自主的なクラブづくり等を広めて、その中でルールを守り、良俗を身につける以外にはない。

さいわい我が伊万里市では市民の中の二人に一人はスポーツや文化など何らかのクラブに属するほどに広がってきた。クラブ活動の達いかんでは社会健康の達成されるのも夢ではない。

(竹)

スタートした公共下水道

駅通り商店街に下水管を埋設

市は、駅通りの道路改良事業及び商店街近代化事業で、道路が拡幅、かさ上げ、舗装されるのに合わせて公共下水道事業の整備を図ろうと、現在、下水管の埋設工事を行っています。

工事が市内中心部であるため、商店街をはじめ交通面で多くの方々にたいへんご迷惑をかけています。しかし、公共下水道は生活環境を守る大切な事業で、みんなの願いでもあります。

スタートした公共下水道のしくみと概要をお知らせします。



▲下水管の埋設工事をする駅通り

下水道で快適な生活を

家庭の台所や風呂場、洗たくなどの汚水は側溝に流され、そのまま川や海に流れこみ、汚染の原因となっています。また、便所は汲み取り式がほとんどで悪臭やハエを発生させています。

公共下水道が出来あがると、台所や風呂場の汚水は水洗便所のし尿と一緒に、道路に埋設さ

れた下水管に流れこみ、終末処理場で衛生的に処理され、きれいな水にして川や海に放流されますので、より快適で文化的な生活を営むことができます。

60年完成をめざす第1期計画

快適な生活環境を生み出す公共下水道事業は、昭和48年度を初年度として基本計画の策定を始め、市議会の「公共下水道調

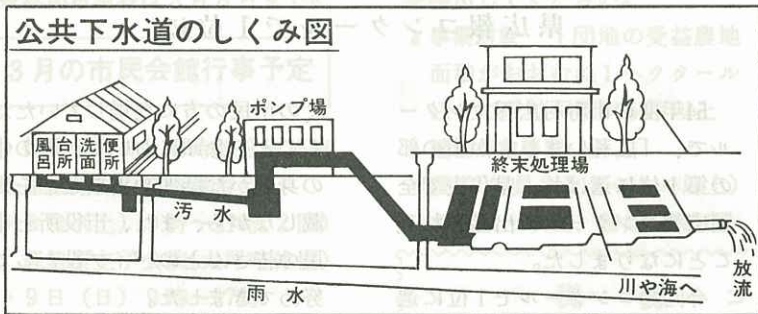
査特別委員会」の審議、助言などを得て作業を進めてきました。

昭和53年12月に県知事の承認を受け、さらに54年1月には建設大臣の事業認可により、公共下水道事業は本格的に着手されました。

第1期計画は、旧伊万里町および大坪町の一部の区域128ha処理人口7,700人として、昭和60年を完成目標に事業費66億円をかけ実施するものです。

全体計画は、1,142haの区域で50,000人の処理人口を対象に70年完成を目標としています。

みんなで住みよい環境を築きあげましょう。



人間はからだ弱く、自分から病気を起こすか、外からの病気に感染してしまう。

私共が住む社会も全く同様で、その社会に健全さがなくなると犯罪という名の病気が、その社会の中から発生し、また外から侵入してくる。だから社会も犯罪という名の病気に堪えようように常に健全にしておかねばならない。

それが私の提唱している社会総健康運動である。

最近北九州市で起こった連続通り魔事件はシンナーを吸っているのを母親に叱られて外に出、会う者にムカムカして刺殺したと自供している。

さらにこの頃は小学校生の犯罪が多いが、少し我慢すればなんでもないのに、ちよつとした動機で犯行に至っている。

これではまるで猛獣やサソリと同居しているような



【物産と観光キャンペーン】

“ふるさとへ訪ねる運動”

都会の郷土出身者に呼びかける

市は、伊万里市の物産と観光客誘致推進協議会との共催で郷土出身の県外在住団体や同窓会などに「みなさんのふるさと伊万里へ」と呼びかける物産と観光キャンペーンを展開しています。

これは、焼き物とフルーツなどの観光資源を生かした観光客を増やそうと、都会に住む郷土出身関係者（推定60万人）を対象に企画されたものです。

1月24日から25日、東京県人会館を訪れた竹内市長はじめ、力武観光協会長ら関係者は、県人会や県人会婦人部、伊高、伊商、伊農同窓会支部の代表者と懇談会を開き、焼き物、カマボコ、みかん、お茶などの物産品



▲東京で郷土出身者に観光PRする竹内市長と関係者

を持参して紹介し、あわせて観光資源のPRを行いました。

懇談会では「手ごろな土産品の開発を」「東京で伊万里の観光物産展を」など、観光開発へのアドバイスや、それぞれの会

市の人口

(2月1日現在)

総人口	61,262人	(+12)
男	29,055人	(+11)
女	32,207人	(+1)
世帯数	16,344世帯	(+4)

市民課調べ、()は前月比

で全面的に後押しをしようとの約束を受けるなど、予想以上の成果を上げました。

今後も継続して関西や名古屋地区への拡大をはかり、観光客の誘客に努めていきます。

市民の皆さんも、県外の知人や友人にお便りをされるときは「ふるさとへ訪ねる運動」にご協力ください。

物産と観光資源紹介のパンフレットをご入用の方は、市役所商工観光課へ申し出ください。

認められた市民参加の広報いまり

県広報コンクールで1位に

54年度の市町村広報コンクールで、「広報いまり」が市の部の第1位に選ばれ、県代表で全国広報コンクールに出品されることになりました。

今回のコンクールで1位に選ばれましたのも、審査員の方が「住民サイドの編集」を主眼に採点したといわれているように市民の皆さんのご協力のもとに「市民参加の広報づくり」が認められたものと、関係者一同たいへん感謝いたしております。

「広報いまり」は、市民の皆さんに親しまれ、交わりのあるものにしたいと、できるだけ多

くの市民の方に登場していただくことを念頭において、町の中の身近な話題や出来ごとを掲載しながら、また、市役所と市民の皆さんとのパイプ役として努めてきました。

これからも、もっともっと市民の皆さんに親しまれ、交わりのある「広報いまり」にしていくなために、身近な話題や出来ごとを通してふれあいを求めていきたいと思ひます。

これまで以上に、市民の皆さんのご協力をお願い申し上げますとともに、紙面をかりて厚くお礼を申し上げます。

地区別飲酒運転検挙者数

(昭55.1.31 現在伊万里警察署調)

地区	1月	累計
伊万里	2	2
大坪	1	1
牧島	0	0
立花	0	0
大川内	2	2
黒川	0	0
波多津	0	0
南波多	0	0
大川	0	0
松浦	0	0
二里	2	2
東山代	1	1
山代	1	1
(市外)	2	2
計	11人	11人

春だ!! 野山をかけまわろう

市民体力づくり大会

市民の皆さんの体力づくりとスポーツを日常生活の中に浸透させ、社会総健康づくりを推し進めるため、第4回市民体力づくり大会を行います。

▲ 期日 3月16日(日)
(雨天の場合は23日)

▲ 時間 9時開会

▲ 集合 国見台陸上競技場
〔種目〕

・オリエンテーリング

会場：国見台、腰岳山麓

・ハイキング

会場：腰岳(トラピスト)

・ゲートボール

会場：国見台球技場

・民謡・フォークダンス

会場：国見台体育センター

・ジョギング

会場：トリムランニングコース

※参加希望者は3月8日までに



▲ 昨年の体力づくり大会

市教育委員会体育保健課(☎③2111、内線464)へお申し込みください。



1月

貿易実績は17億8,185万円で前月比33億8,587万円の減。

〔輸出〕 実績なし

〔輸入〕 17億8,185万円。

〔船舶の入港〕 20隻

(日本船2、外国船18)

〔寄港地上陸許可者〕 438人

フィリピン172、韓国159

インドネシア83、中国22、ビルマ2。

4月1日から申請受付

小規模土地改良事業

昭和55年度の農業基盤整備を図るため、小規模土地改良事業を共同で行われる方は4月1日から5月31日までに認可申請書を提出してください。

▲ 事業対象 1団地の受益農地面積がおおむね1ヘクタール以上で受益戸数が5戸以上

▲ 補助対象事業

・農道(幅員2.5メートル以上)の新設・改良、溜池、水路(土

水路を除く)頭首工、橋梁、農道舗装(幅員2.0メートル以上)などの事業で、いずれも総工事費が100万円以内の事業。

・補助率は当該事業に要する経費の100分の45以内。

※昨年申請が認可されなかった分については再申請が必要です。問い合わせは市土地改良課改良係(☎③2111、内線381)へ。

3月の市民会館行事予定

- ・毎週金曜日 9時30分～15時 運転免許更新時講習会
- ・8日(土) 9時～21時(2回) 筑紫美主子公演(大坪町体協)
- ・9日(日) 9時～17時 市婦人大会(婦人連絡協議会)
- ・15日(土) 14時、18時開演 歌のフェスティバル(東芸)
- ・16日(日) 9時～12時 マンガ映画大会(鈴映画社)
- ・19日(水) 18時開演 「世界の歌、日本の歌」 デュークエイセス歌謡公演
- ・20日(木) 18時開演 明大マンドリン演奏会

税 務 コ ー ナ ー

確定申告はお済みですか

所得税の確定申告は3月15日までは。期限間近になります。税務署は大変混雑しますので、まだ申告がお済みでない方は、早目に済ませましょう。

▼ 申告や納税の相談

税務署 3月1日～15日 9時～17時

▼ 税理士会無料納税相談

(場所・商工会議所) 3月11日～15日 9時30分～16時

軽自動車などをお持ちの方へ

軽自動車や二輪車、農耕作業用車などを4月1日現在で所有している方には軽自動車税が課税されます。廃車や譲渡、下取りなどで現在所有していない方は今月中に手続きしてください。

【手続き場所】

▼ 原付自転車、農耕車、その他の小型特殊車は市税務課管理係

▼ 軽自動車、自動二輪車は県陸運事務所、家用自動車協会の

▼ お尋ねは市税務課管理係(☎③2111、内線233)へ。

③ 2111、内線233

あなたと考える

後継者

今春、高校を卒業し社会へ巣立つ若者たちのゆくえを追い、あわせて郷土についての意見を聞く、アンケートを行いました。対象は、市内4校のうち伊万里商業高校、伊万里農林高校、伊万里学園高校の3校で、卒業後は社会へ出て働く市内出身の3年生300人(回収265人)です。

この結果をもとに若者たちの動向と考えを知り、後継者の育成とそのあり方について、みなさんと一緒に考えてみましょう。

ふるさとに住みたいと願う若者

卒業後、社会に出て働く若者は『どこで生活しますか』の問いに、市内に残ると答えた者は32%で、県内が12%、県外が68%と、市外就職者は68%に達しています。

若者たちは、ふるさとに『ぜひ住みたい』23%、『できれば住みたい』59%と、82%の者が伊万里市に住みたいと答えていますが、『働く場所に恵まれていない』と69%が訴えているように、市外就職者が68%となっていることが注目されます。

また、『伊万里は住みよいまちですか』の問いには『どちらかといえば住みよい』が70%で

『非常に住みよい』の17%をあわせると、87%が住みよいまちだと答えています。

その主な理由は『自然環境がよい』84%、『公害に悩まされない』59%、『人間関係がよい』37%などとしています。

反面、悪いと思われるものと



して『交通が不便である』70%、『働く場所に恵まれない』69%などを指摘しています。

このアンケートをみると、若者たちは都会にあこがれて出て行く者ばかりではなく、ほとんどの者(82%)は、ふるさとに住みたいと願っています。

後継者が働ける場所を

社会へ巣立つ若者たちの声を集約すると、自然環境がすばらしく、公害もなく、心のふれあいのある伊万里に、働く場所を望んでいると言えるでしょう。

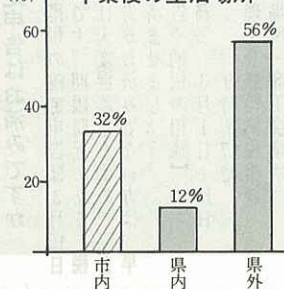
後継者を育てていくためには働く場の条件整備として早急に企業を誘致する必要に迫られています。しかし、考えなければならないことは、若者たちも言っているように、ふるさとのすばらしさは自然環境に恵まれ、公害のないまちであることを注目すべきではないでしょうか。

ただ単に、働く場所さえあればよいというだけの企業誘致ではなく、将来の伊万里が大都市として発展する中で、自然環境が守られ住みよいまちとしていくためにはどうしたらよいかを問われる時ではないでしょうか。

いまこそ市民が総力をあげて英知を奮い、ひらけゆく伊万里市を浮揚させる時であり、それが後継者の育成をはかるものでもあると考えられます。

あなたは、いかがお考えでしょうか。

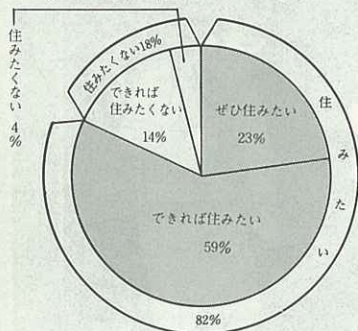
卒業後の生活場所



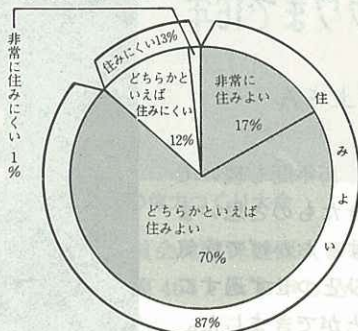
ゆ く え

キャンペーン シリーズ No.18

伊万里市に住みたいと思うか



伊万里市は住みよいまちと思うか



地元で働ける喜びをかみしめる

多久島正敏さん (伊学園高 東山代町長浜)

地元の企業に勤めることが決まりました。

3年前、造船科を志望した時から、卒業後は地元企業で働きたいと願っていただけに、希望どおり就職することができてたいへん喜んでいました。

一日も早く仕事を覚え、上司や先輩の皆さんから可愛いがられるように、一生懸命がんばり



たいと決意を新たにしています。

在学時は少年野球で宮崎国体に出場して優勝することができ、思い出多い学園生活を送ることができました。

社会に出てからも、学生時代に毎日、汗と泥にまみれて練習に励んだ時を思い出して、辛い時もくじけずがんばっていきます。

ふるさとの土に生きる

副島洋明さん
(伊農高 松浦町岳坂)

私は郷土に残って農業後継者としてがんばります。

共同経営の新幸農園で梨栽培に励むためもっと専門技術を身につけなければと思い、茨城県の園芸試験場で1年間みっちり研修してきます。



これからの農業は、地域の特性を生かした経営をやっていくべきではないでしょうか。

私は、学校や試験場で学んだ農業技術を十分に活かしながらふるさとの土にどっしりと腰をおろし、泥にまみれ、汗を流しながら農業に生きていこうと覚悟を決めています。

変わらぬふるさとを願う

松島雅明さん (伊商高 松島町)

私はふるさとを離れ、東京の日本蓄針株式会社に勤めることになりました。

できれば郷土に残り、親元近くで働きたいと思っていました。が、男子一生の仕事として働くためには、県外に出て行くことも止むを得ませんでした。

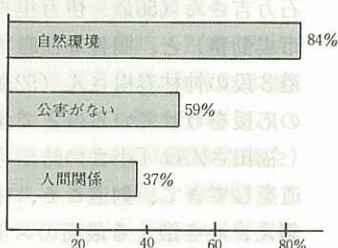
遠くふるさとを離れても、友だちや伊万里のことを忘れるこ

となく、がんばっていくつもりです。

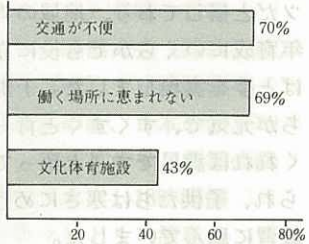
私は郷土に残ることができませんでしたが若者が県外に出なくてもすむように、企業誘致をして働く場所をつくってほしいと思います。そして、自然に恵まれ、ふれあいのある伊万里が、いつまでも変わらないことを願います。



伊万里市のよいところ



伊万里市の悪いところ



ありがとう あなたの善意

心あたたまる町の話

～その14～

東京オリンピックからモスクワまで16年

商店街の清掃を続ける井上さん

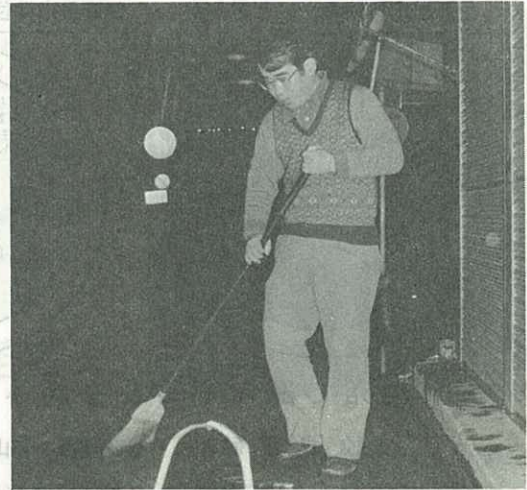
モスクワオリンピックの不参加問題が話題を呼んでいる時、16年前に開かれた東京オリンピックの時から始めた街路の清掃奉仕活動をモスクワまではと頑張っている方がおられます。

この方は、東新町の井上辰夫さん（42歳＝椅子修理業）で、昭和39年10月10日の東京オリンピック開会を記念して、何か地域の役立つことをと、新町商店街の清掃を始められたものです。

毎朝6時から1時間、ホウキとチリトリを持って新町商店街をゴミクズが一片もないようにきれいに掃き清めておられ、利用する皆さんからたいへん感謝されています。

井上さんは「自分ながら、よ

く16年間も続いてきたものと思います。おかげで病気ひとつせず過ごすことができました。今年の10月10日までは何があってもやりとげたい。」と語っておられました。



剣道で礼儀正しい少年少女を

私費で剣道場を作り指導に励む福田さん

剣道を通して健康で礼儀正しい明るい少年少女を育てようと私費を投じて道場を建て、指導に励んでいる人がいます。

この人は、二里町川東の福田茂弘さん（39歳＝農業）で、1年前、自宅横の畑に300万円をかけ剣道場（東武館＝70㎡）を作って、地域の子供たちに剣道を教えているものです。

練習は毎週月・水・金曜日の午後5時から行っており、年々増えてきた豆剣士の指導に手がまわらず、義兄で剣道5段の諸石万吉さん（56歳＝伊万里青果市場勤務）と、明善寺住職で剣道3段の神林春樹さん（52歳）の応援を受けているほどです。

福田さんは「小さい時から剣道をしてきて、剣道こそ、体を鍛え、心を鍛える最高のスポーツだと信じており、地域の青少年育成にいくらかでも役に立てばと夢を実現しました。子供たちが元気で、すくすくと育ってくれば満足です。」と語っておられ、子供たちは寒さにめげず練習に励んでいました。



いま伊万里で

昭和54年度伊万里市社会同和教育推進大会



社会同和推進大会を開催（2 / 20）

市社会同和教育の総決算として、約200人が大坪公民館に集まり、各町の取り組みなどを発表しました。



東山代町で青空市長室を開催（2 / 5）

雪が降り寒風が吹く中、旧産炭地跡の鉱害復旧や排水口の掘削など地元の方々の要望を聞きました。

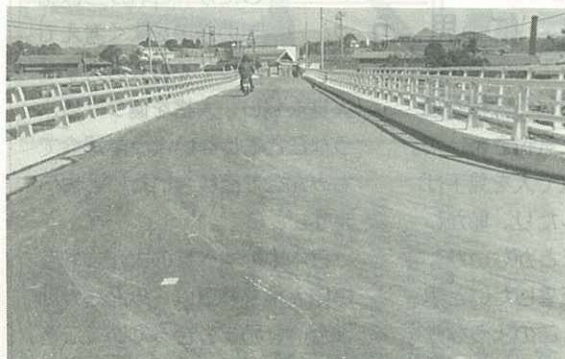


大川町に消防東分署が完成（2 / 20撮影）

東分署は3月1日から業務を開始し、火事や防災のほか救急車の配備により救急活動もします。緊急の場合は電話9局2119番へ。



好評の消費生活展（2 / 22、2 / 25）
生活の中からムダを省き、賢い消費者となるためのアイデアや協賛団体の出品物が展示され、来場者に好評でした。



川東橋の工事完了（2 / 26 開通）

国道204号線、川東橋は有田川の川幅拡張工事によって約2倍の長さで延長され、市民病院とも直線で結ばれました。

立花台地に農業婦人の家が落成（2 / 2）

農業婦人の集いの場として市農協会館横に完成しました。



交通安全に願いをこめて

県民大会に1,200人が集う

2月6日、第14回交通安全県民大会が市民会館で行われ、県内の交通安全推進グループや指導員、職場の交通担当者など約1,200人が参加しました。

大会では交通安全に功績のあった個人や団体の表彰があり、市からは山代町の田中八郎さん

(九州電力伊万里営業所勤務)と市交通対策協議会が表彰を受けました。

この後、実際に地域や職場で交通安全に携わっている3人の方の体験発表があり、優良運転手として表彰された田中さんとみなみ保育園勤務の山下美幸さんが、それぞれの職場で実践している交通事故防止対策や、幼児の交通安全教育などの事例を発表し、県民の願いである交通事故撲滅を参加者に呼びかけました。

ご相談はお気軽に

特設人権相談

人権、相続、不動産などの問題について、人権擁護委員が相談をお受けします。

▲日時 3月21日 10時～15時

▲場所 波多津公民館

▲担当 人権擁護委員

古川美年氏

法務局伊万里支局職員

行政相談

市や県、国の行う仕事で苦情や相談、お悩みの方は行政相談委員にご相談ください。

相談委員は次の方です。

・岩本判三氏

東山代町大久保 (☎0546)

・井手敏男氏

新天町 (☎4350)



▲交通安全県民大会で体験発表する山下さん

ぼくは、社会科で徳川時代の身分制度のことを勉強しました。

教科書には、『士、農、工、商の身分の下に最も低い身分が定められ、この人々は住む場所や仕事が決められてきびしい差別のもとに苦しめられました』と書かれています。この身分制度の

中では同じ日本人を上下に区別し、人間を人間と思わない、ひどい差別が何百年も続いて、今なお自由と平等の民主主義の世の中でも、昔の封建時代の身分差別が、いろいろな面で残されていると聞いています。

この事実は、私たちが生まれながらにもっている人間のいちばん大切な生きる権利(基本的人権)をふみにじってきたことになるのです。日本国憲法では

この基本的人権を、だれも侵すことのできない永久の権利として定めていますが、現在、私たちの身のまわりには、貧富や地位による差別、学歴や職業に対する差別、女性や障害者に対する

この基本的な人権を、だれも侵すことのできない永久の権利として定めていますが、現在、私たちの身のまわりには、貧富や地位による差別、学歴や職業に対する差別、女性や障害者に対する差別など、いろいろ人権を侵す差別があるのに気がしました。

私たちは、平気で人を見下したり、侮じょくしたり、恥かしめたりしていることがないか、お互いに自分を反省したいと思います。そして、このような差別がその人の心をどんなに深く傷つけるものか相手の立場に立って考えてみなければなりません。

私たちのクラスでも、女や弱いものをいじめたり、勉強の遅れた人を仲間はずしにしたりすることもあります。こんなことは絶対にやめねばなりません。

ぼくはこれまで「人権週間」

のことは知りませんが、これからは相手の立場をよく考えて決してその人の大事な

人権を侵し、人格を傷つけるようなことをしないよう学級会でもみんなで話し合いたいと思います。

日本中のすべての人が、お互いに人権を尊重し、みんなが助け合い、励まし合っていくことによって、はじめて平和で明るい、住みよい社会がつくられていくのではないのでしょうか。

(大川中学校2年男子)

同和教育シリーズNo.6

「人権週間」に思う

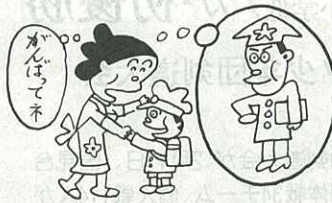
もうすぐ1年生

入学準備はお済みですか

新しく小学校に入学するお子さんにとって、学校は楽しいところ、のびのびできるところという明るい期待をいだかせることが入学準備の第一歩です。

▲入学前の準備として

- ・何でも話し、だれとでも仲良くできるように
- ・自分のことは自分ででき、名前や住所が言えるように
- ▲通学途上の安全について
- ・学校で決められた通学道路を通して、よく確認しましょう
- ・横断歩道の渡り方や、道路の



正しい歩き方を教えましょう
 ・知らない人についていけないように、同級生や上級生といっしょに登下校させましょう
 ※お子さんが健やかに学校生活を送れますよう、家族みんなで温かく見守ってください。

☎でんでんだより☎

電話の移転もお忘れなく

3月・4月は転勤のシーズン。引越しなどをされる場合は電話の移転も1週間ぐらいの余裕をもって申し込みましょう。

電話は全国どこへでも移すことができます。(電報電話局)

婦人学級生を募集

申し込みは中央公民館へ

市中央公民館は昭和55年度の婦人学級生を募集します。

▲学習内容

・洋裁(初心者)

・一般教養学習

▲日程

毎週1回月曜か火曜

9時30分～15時

▲資格

市内の一般家庭婦人

▲定員

70名(先着順)

▲申込日時

3月24日

8時30分～12時

ご希望の方は印鑑持参のうえ

市中央公民館へお申し込みください。(☎②7105)

- 次のかたからご寄付をい
 ただきました。厚くお礼申
 しあげます。(敬称略)
 社会福祉事業費へ
- ◆香典返しを寄付
 ・田中トミ(下土井町 亡
 夫金市)
 - ・田中 貢(波多津町田代
 亡母キクノ)
 - ・岩野文太郎(黒川町長尾
 亡母マキノ)
 - ・西田 薫(東山代町川内
 野 亡父喜代次)
 - ・西カズエ(東山代町里
 亡夫忠次)
 - ・永江光司(上仲町 亡母
 マキ)
 - ・富永フヂノ(大川内町小
 石原 亡夫貞雄)
 - ・山本 勲(山代町東分
 亡母フク)
 - ・山口 望(木須町木須東
 亡父八郎)
 - ・吉富千鶴香(上土井町
 亡夫春次)
 - ・藤本文幸(大川内町大川
 内山 亡母スマ)
 - ・百武ハルエ(木須町木須

- 西 亡夫秀次
 ・栗原正明(立花台三丁目
 亡母ムメ)
- ・久保田為之進(東山代町
 下分 亡妻ツル)
- ・石橋 保(山代町城 亡
 父兵三)
- ・(立花保育園へ)
- ・栗原正明(立花台三丁目
 亡母ムメ)
- ・(身心障害児父母の会へ)
- ・長野好行(黒川町塩屋
 亡長男辰憲)
- (累計四九三万二、五五八円)
- ◆教育施設、設備の充実へ
 ◆香典返しを寄付
 ・徳永七次(大川内町大川
 内山 亡妻トク 南波多小
 指定)



- ◆篤志寄付
 ・老万円 中島絃一(新天
 町六五四)
- ◆大川内公民館建設資金へ
 ◆香典返しを寄付
 ・藤本文幸(大川内町大川
 内山 亡母スマ)
- ・原 一男(大川内町平尾
 亡叔父顕次)
- ・富永フヂノ(大川内町小
 石原 亡夫貞雄)
- 黒川町明るい町づくり
 推進資金へ
- ◆香典返しを寄付
 ・長野好行(黒川町塩屋
 亡長男辰憲)
- 波多津町コミュニティ
 推進委員会へ
- ◆香典返しを寄付
 ・脇山徳助(波多津町内野
 亡妹井手ツル)
- ・田中 貢(波多津町田代
 亡母キクノ 老人クラブへ)
- 南波多公民館
 施設整備資金へ
- ◆香典返しを寄付
 ・岡本軍二(南波多町小麦
 原 亡叔母シズ)
- ・大島幸枝(南波多町井手
 野 亡夫裕人)
- 二里町明るい町づくり
 推進資金へ
- ◆香典返しを寄付
 ・水尾民雄(二里町川東
 亡母ツク)
- ・前田礼次(二里町内の馬
 場 亡母キヤ)
- 山代町コミュニティ
 センターへ
- ・参万円 西田 稔(山代
 町久原二区 病児見舞返し)

こどものページ

伊万里少年剣道(小学低)が初優勝

10周年を迎えたスポーツ少年団剣道大会

今回で10周年を迎えたスポーツ少年団剣道大会が、2月11日、国見台体育センターで開かれました。試合は団体戦34チーム、個人戦114人が参加して、熱戦をくりひろげました。成績は次のとおりです。



▲10周年を祝ってモチをつく剣士

〔団体戦〕

小学校低学年(4年生以下)

- 優勝 伊少剣A (伊万里町)
- 2位 大里剣道 (二里町)
- 3位 伊少剣B (伊万里町)

小学校高学年(5年生以上)

- 優勝 大里剣道A (二里町)
- 2位 久原剣道A (山代町)
- 3位 鎌心館 (山代町)

中学校

- 優勝 大里剣道 (二里町)
- 2位 山代剣道A (山代町)
- 3位 波浦剣道 (波多津町)

〔個人戦〕

小学校低学年

- 男子 優勝 大古場千武(大里)
- 2位 松尾忠徳(松武館)
- 3位 福田広圭(東武館)

- 女子 優勝 牧瀬由美(大里)
- 2位 大坂明子(伊少剣)
- 3位 中島徳恵(伊少剣)

小学校高学年

- 男子 優勝 力武健二(大里)
- 2位 前川直樹(大里)
- 3位 山本直樹(修武館)

- 女子 優勝 川久保マユミ(久原)
- 2位 草場良枝(赤門館)
- 3位 池田薫理(赤門館)

中学校

- 男子 優勝 清水嘉浩(大里)
- 2位 牧瀬省吾(大里)
- 3位 前田 宰(山代)

- 女子 優勝 馬場マスマ(大里)
- 2位 川久保イズミ(久原)
- 3位 山口由美(立花)



▲熱戦をくりひろげる剣道大会

ありがとう 交通指導のおじさん

伊万里小学校五年
伊藤裕明



毎日、ぼくたちより早くおきて交通指導してくれるおじさん。ありがとう。

暑い日、雨の日と、いつもの場所に立って、いろいろと指導してくれるおじさん。ほんとうにありがとう。

こんなおじさんのすがたを見ると、交通ルールを守り、ぼくたちを指導してくださるおじさんのために、少しでも役立つように、おとしよりや、小さい子供たちに交通ルールをおしえてやるように、心がけたいと思います。

ぼくは一度このようなことがありました。ぼくが四年のころ四つ角を車が来ていると知らないで、まっすぐ行っていたら、交通指導のおじさんにおしえてもらい、たすけてもらったことがあります。この時ほど自分の

左右の注意の足りないこと気がつき、心の中で、「おじさんありがとう。」と思ったことはありませんでした。そして、四つ角にいくと、あの日のことを思い出すのです。そして、ここには注意なくてはと、心をひきしめるのです。

そんなおじさんを見ていると自分も役に立つことなら、なんでもしてみたいと思います。もし、役に立つようなことがあったら、いつでもえんりょはいらないからいつててください。冬は霜がふり、雪もふるから寒いでしょうけどがんばってください。お願いします。かぜをひかないように体にも十分気をつけてください。できるなら、ぼくも朝早くおきて何かいいことを続けていきたいと思っています。

そして、ぼくも大人になったらおじさんたちのように何かに役立つことをしていきたいと思っています。ほんとうに交通指導のおじさんありがとうございます。これからも、ぼくたちは事故のないよう一人一人が注意し事故0人の日をめざしてがんばっていきたいと思います。よろしくお願いします。